

令和4年度 第2回 積志中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年9月5日（月）14時20分から15時20分まで
- 2 開催場所 積志中学校 会議室
- 3 出席委員 今宿 康一、上野 由紀夫、三輪 清、岡本 知之、林 和法、北 一樹、
高橋 美香
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 森田 忠（校長）、永田 行央（教頭）、高林 昭寿（CS担当）、
北寒寺 知子（CSディレクター）
- 6 教育委員会 小川 誠司（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 協議事項
（1）議長選出
（2）今後の学校運営協議会の取組について
（3）その他
- 9 会議録作成者 CSディレクター 北寒寺 知子

10 会議記録

司会から、委員総数7人のうち7人全員の出席があり、過半数に達するため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）議長選出

議長については、第1回目の会議で、本年度は年間を通して岡本委員に務めていただくことが決定していたため、岡本委員に進行をお願いした。

（2）今後の学校運営協議会の取組について

熟議の冒頭で本日の授業参観や夏休みの中学生の様子等について、意見交換をする中で各委員から以下の発言があった。

- ・夏休みは、3年生を中心として部活動を頑張った。夏休み中に部活動に向かう中学生は、通学路でマナーよく歩いている様子があった。大人しいという印象を授業から感じた。（北委員）
- ・部活動では、目標に向かって努力する大切さを学んだ。コンクールや大会等が終わったさみしさ等、親として聞き取っていききたい。授業では、1年生は緊張しているのか静かに授業を聞いていた。2、3年生は緊張がほぐれ、全体として柔らかい雰囲気で行われているという印象を受けた。（林委員）
- ・挨拶ができ、しっかりして印象が良い。学年が上がるにつれて、成長を感じた。（三輪委員）
- ・授業の様子、前のめりになって聞いている生徒が多い。生徒と先生との関係が良いと感じた。廊下の掲示に、それぞれのナンバー1を張り出していて、良いことだと思った。また、地域の行事、お祭りなど、子供会の練習の中に中学生がお手伝いに入ってくれるのは、とても嬉しい。これからも地域で子供たちを育てなければいけないと思った。（上野委員）

- ・子供たちが楽しく授業を受けている様子がわかった。3年生は、2学期以降もテストがたくさんあるが、夢に向かって頑張りたいと思う。また、先日の大雨の際、引き渡しになると保護者が迎えに行く時に、親も怖くて不安だと感じた。(高橋委員)
- ・授業は真面目に受けている印象。昇降口の靴箱、空いている教室の机等で整理整頓がしっかりできていた。普段も良い状態で学校が運営されているのがわかった。CS コーディネーターになり、新聞等で積志中の名前があると注目するようになった。(岡本委員)

○「積志中の未来を考える会」について岡本委員より以下の説明があった。

この会の目的は、積志中コミュニティスクールのこれからの方向性を定めていくために、現状で生徒、保護者、地域の人たちがどのような学校を目指していきたいと考えているのかを意見交換していくことである。また、それぞれの立場から、学校教育への要望や自分たちが協力できることなどについての意見を出してもらい、今後のコミュニティスクールでの具体的施策を探していきたい。

岡本委員から提案された具体的な実施計画に対して、意見交換、協議を行い、以下のような方向で計画を進めていってはどうかという意見が出た。

- ・事前アンケートを生徒、保護者に実施し、そこから現状の課題と今後の方策等の意見集約を行い、それを基にしながら、来年度以降にどのような取組ができるのかについて意見交換を行いたい。
- ・生徒、保護者、教職員、地域住民など様々な立場の人に参加をしてもらい、パネルディスカッション形式での実施を考えている。しかし、このようなコロナ禍の状況なので、ズームなどを使って開催出来たらよい。
- ・事前アンケートについては、Googleフォームでアンケートをとるのはどうか。
- ・次回の学校運営協議会の予定日である11月21日に実施したい。
- ・地域防災については、中学生の存在が必要不可欠なので、地域の防災担当者にも参加を依頼したい。あわせて、交番の駐在員にも参加を依頼したい。
- ・運営協議会の委員の方にも、積志中の未来を考える会のメンバーとして出席する。
- ・コミュニティスクールのPRもしたいので、生徒が教室で視聴できるようにしていけたらよいと考えている。

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) その他

部活動の資金の問題について、岡本委員より以下の発言があった。

大会などで勝ち上がっていくと、交通費や宿泊費など、多額の費用がかかる。現状は受益者負担になっているが、その場合、家庭によっては参加が困難になる生徒が出てくるのではないかな。これに対して、今後コミュニティスクールの中でバックアップできるような取組を考えていってはどうだろうか。

上記に関して委員からは以下の発言があった。

- ・今後、部活動がどのように変わっていくのかを心配している保護者もいる。コミュニティスクールの中で発信できるとよい。(北委員)
- ・今後出場する大会やそれにかかる費用がわかる資料を渡し、資金を地域からの寄付という形で集めるのも一つの手段ではないか。(今宿委員)

その他報告事項等

- ・CS担当より、次回の学校運営協議会は令和4年11月21日(月)に予定されているが、開催時間等の詳細は、調整後、改めてさくら連絡網でお知らせする旨の報告があった。